Energia

報 道 資 料

平成17年7月11日
中国電力株式会社

島根原子力発電所1号機
手動停止に係る原因と対策について

当社島根原子力発電所1号機（沸騰水型，定格電気出力46万キロワット）は，調整運転中のところ，7月6日14時24分，ドライウェル真空破壊弁8弁のうち1弁の全閉が確認できない状態になったことから，原子炉を停止し点検を行うこととしました。

（7月6日お知らせ済）

原子炉停止後，当該弁の外観目視点検を行ったところ，弁は全閉状態であり弁本体に異常は認められませんでしたが，全閉表示用のマイクロスイッチの一部が折損していることが認められました。

（7月8日お知らせ済）

その後，点検・調査を行い，原因と対策を以下のとおりとりまとめましたのでお知らせします。今後，準備が整い次第，運転を再開する予定です。

1. 原因

ドライウェル真空破壊弁の分解点検手順書を確認した結果，弁体を取り外す際にマイクロスイッチを取り付けたまま弁体を取り外す手順となっていました。

そのため，今定期検査の分解点検作業中にマイクロスイッチと弁体の一部が接触したことによりマイクロスイッチの一部が損傷し，本事象に至るまでは構造を保持していたものの，最終的に折損し，全閉表示ができなくなったものと推定しました。

2. 対策

当該弁の全閉表示用と全開表示用のマイクロスイッチを新品に取り替えるとともに，残り7弁を含む全弁の健全性を確認しました。

再発防止対策として，ドライウェル真空破壊弁の分解点検作業時には，予めマイクロスイッチを取り外す手順に手順書を変更することとしました。

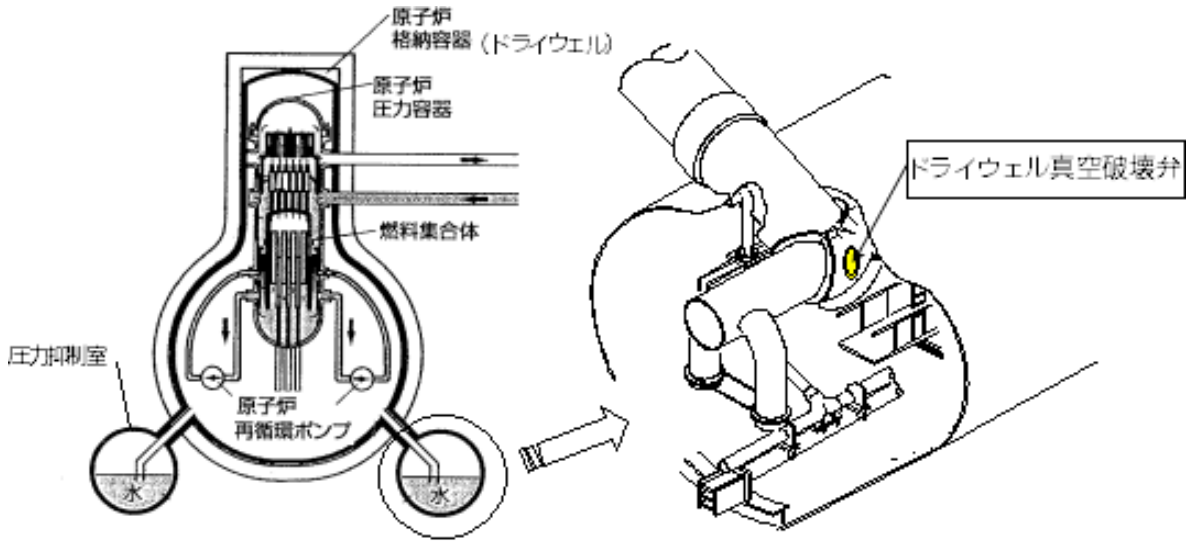
また，同弁の分解点検時には合わせてマイクロスイッチを取り替えることとしました。

今回の手動停止では，地域の皆さま方にご心配をおかけしましたが，今後，再発防止対策を確実に実施し，安全・安定運転に努めてまいる所存です。

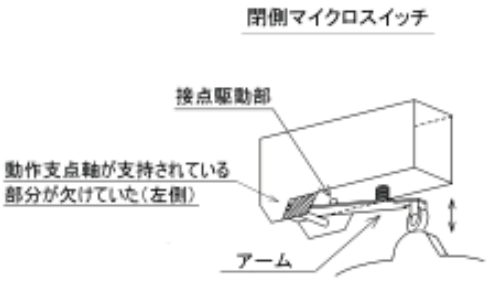
以上

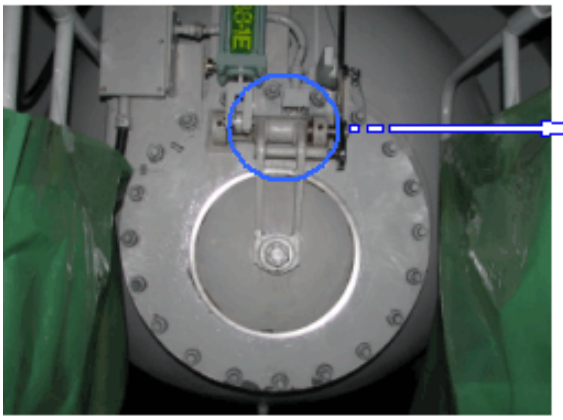
>>別紙

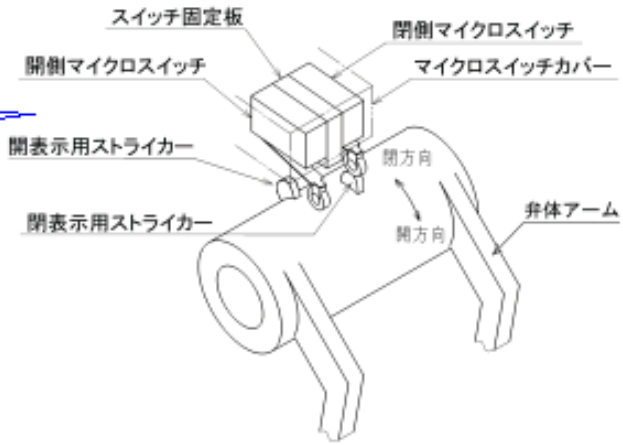
別紙



原子炉格納容器内概略図　　圧力抑制室外観図







ドライウェル真空破壊弁　　マイクロスイッチ破損箇所概略図